

## 工事期間中の避難施設について

2022年度に東京都が東京都地域防災計画を修正し、都内の避難者数推計の見直しがありました。東京都での見直しを受け、町田市においても、2023年度に市内の避難者数推計の見直しを行い、その結果をもとに、2026年度から2028年度の工事期間中における鶴川第四小学校に代わる避難施設の検討・調整を行いましたので、ご報告します。

### (1) 鶴川西地区の避難施設別避難者数推計の実施について

町田市全体及び鶴川西地区の避難者推計の見直しの結果は、以下のとおりです。

施設名	旧避難者推計 (人)	新避難者推計 (人)	増減数 (人)	増減率 (%)
町田市全体	52,939	38,941	▲13,998	▲26%
鶴川第四小学校	1,006	374	▲632	▲63%
鶴川第三小学校 鶴川第二中学校	2,650	1,012	▲1,638	▲62%
鶴川第一小学校	387	376	▲10	▲3%
鶴川中学校	410	233	▲177	▲43%

※新避難者推計は、町田市地域防災計画（2023年度修正）に記載のもの

### (2) 工事期間中の避難施設について

(1)の避難者数の推計結果を受け、2026年度から2028年度の鶴川第四小学校に代わる避難施設は「鶴川第三小学校」「鶴川第二中学校」、「鶴川第一小学校」、「鶴川中学校」への分散避難を想定しています。各小中学校では、開放が可能なスペースとして、第一段階のアリーナ、普通教室、特別教室等があり、合計で2,414人の収容が可能です。（「避難所における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン(令和2年6月東京都)」を参考に、4㎡当たり1人で計算した場合、合計で996人の収容が可能）。

2024年度に、鶴川第四小学校を避難先とする自主防災組織と、年度内を目途に新校舎建設期間中の新たな避難先を合意し、地域住民に対して周知するとともに、2025年度に、新校舎建設期間中の新たな避難先で連絡会及び開設訓練を行います。

そして、新たな避難先の周知については、鶴川第四小学校を避難先とする地域住民に対して、上記連絡会及び訓練の場で行っていくとともに、地域や保護者等に対しても「まちだの新たな学校づくり通信」で図っていきます。

2029年度以降の鶴川第四小学校の代替の避難施設につきましては、現在の鶴川第四小学校地に完成する新たな学校を避難施設として利用することで、適切な避難施設配置を維持します。

### (3) 備蓄物資の移動について

現在、鶴川第四小学校にある備蓄物資につきましては、分散備蓄※の考え方に基づき、2026年度の避難施設の移行後、速やかに移動します。

※分散備蓄…地域防災拠点や指定避難所等に分散して備蓄すること

### (4) 2024年度のスケジュールについて

2024年 6月以降 避難施設関係者連絡会にて、新たな避難先を決定・周知

2024年 10月以降 避難施設開設訓練にて、新たな避難先を確認・周知

※避難施設関係者連絡会が終了以降、「まちだの新たな学校づくり通信」で新たな避難先の周知を行っていきます。